

あいち農産物生産流通レポート

令和元年12月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 第73回全国お茶まつり愛知大会を開催	(園芸農産課) 1
◎ 地域トピックス	
・ 岡崎市太田商店の新しいGPセンターの稼働について	(西三河農林水産事務所) 2
・ 豊橋の2大青果市場が市場まつりを合同で開催	(東三河農林水産事務所) 3
◎ 東日本情報	
・ ブロッコリーの有利販売に向けた対策	(東京事務所) 4
◎ 西日本情報	
・ あいちの農林水産フェアを開催しました	(食育消費流通課) 6
◎ フラワーページ	
・ スポーツシーンにおけるあいちの花のPRについて	(園芸農産課) 7
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の12月の見通し(県内市場)	22

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農業物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農業物価統計調査」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

第 73 回全国お茶まつり愛知大会を開催

園芸農産課

本県として 15 年ぶりとなる全国お茶まつりを西尾市で開催しました。8 月の品評会から 11 月の大会式典までの開催結果を振り返ります。

1 全国茶品評会

8 月 27 日（火）から 30 日（金）の 4 日間、西尾コンベンションホールにおいて全国茶品評会出品茶審査会を開催しました。全国 19 府県から、8 部門に計 920 点の出品があり、全国の茶研究機関職員など 20 名が厳正に審査しました。

その結果、見事、地元西尾市の（有）ヤマフジ製茶いながきひろのり稲垣宏紀さんがてん茶の部で最高賞の農林水産大臣賞を受賞されました。また、産地賞については、てん茶の部で西尾市が 2 位に、かぶせ茶の部で豊田市が 2 位に輝きました。

また、9 月 19 日（木）に、西尾コンベンションホールにおいて出品茶入札販売会を開催しました。全国から 164 社の茶販売業者に参加いただき、品評会出品茶を入札形式で販売しました。最高値は（有）ヤマフジ製茶 稲垣宏紀さんのてん茶で、1 kg 当たり 543,683 円でした。



審査の様子

2 全国お茶まつり大会式典及び P R イベント

11 月 16 日（土）に西尾市文化会館において大会式典を開催しました。知事、（公社）日本茶業中央会かみかわようこの上川陽子会長、ふじきしんや藤木眞也農林水産大臣政務官を始め、全国の茶業関係者 820 名が参加しました。品評会の表彰や茶業功績者表彰などを行い、愛知県からは、いしかわてつお前愛知県茶業連合会会長の豊田市の石川哲雄さんが茶業功績者として表彰されました。

また、16 日（土）、17 日（日）の 2 日間、茶 P R イベントを開催しました。抹茶の呈茶、全国のお茶の試飲会、品評会出品茶の展示などをおして、日本茶の魅力を広く発信しました。西尾市等の主催による「西尾の抹茶博」も同時開催され、抹茶スイーツフェスや産業物産フェアなどの催しで、お茶の新しい楽しみ方や西尾市の魅力を全国から集まった幅広い世代の方々に向けて P R しました。2 日とも晴天に恵まれ、イベント全体で 4 万人の方に来場いただきました。



大会式典の様子



P R イベントの様子

岡崎市太田商店の新しいGPセンターの稼働について

西三河農林水産事務所

1 太田商店の岡崎おうはん流通の取組

太田商店（太田直樹代表取締役、本社：岡崎市福岡町）では、地鶏の「岡崎おうはん」を柱とした鶏卵、鶏肉及びその加工品を取り扱っています。

「岡崎おうはん」とは、独立行政法人家畜改良センター岡崎牧場（岡崎市大柳町）が開発した純国産の卵肉兼用種の鶏です。地元岡崎市で開発されたこの鶏は、地域資源、岡崎ブランドとして行政も支援しており、岡崎市には「岡崎おうはん」の生産と消費の拡大、ブランドの維持を図ることを目的に、岡崎おうはん振興協議会が設置されており、太田商店も中心的な会員として「岡崎おうはん」の振興策を担っています。

本社の敷地内には、直売施設やレストランで地元岡崎市ではおなじみの「らんパーク」を展開しており、直売施設では鶏卵や鶏卵を使ったお菓子等の販売、レストランではたまごかけごはんや親子丼等の鶏卵鶏肉を使った料理の提供が行われています。地元の消費者からは新鮮な鶏卵が常時手に入り、おいしい鶏卵鶏肉料理も味わえるということで、大変好評を得ています。

2 畜産クラスター事業によるGPセンターの新規整備

太田商店では、鶏卵を養鶏農場から集荷し、洗卵、選別する機械施設（Grading&Packingセンター）を保有していますが、本社敷地内にある従来の施設は1時間当たり1万個を処理していました。しかしながら、施設の老朽化と鶏卵取扱い業務の拡大のため、新たに岡崎市三ツ木町に用地を取得し、平成30年度畜産クラスター事業の活用により新たな洗卵選別機械を導入し、今年5月に竣工式を行い、鶏卵の処理数を1時間当たり3万個まで高めることが可能になりました。

この度の施設整備により、より効率的かつ衛生的な処理が可能となり、消費者へ一層安全な製品の供給が図られるとともに、養鶏農家の方々にとっても安心して鶏卵の生産ができ、経営の安定に貢献するものと期待されています。

なお、本社敷地の旧GPセンターの跡地を利用して、令和2年4月には「らんパーク」の拡張も予定されています。



GPセンターの外観



GPセンター内の洗卵機械

豊橋の2大青果市場が市場まつりを合同で開催

東三河農林水産事務所

1 開催のねらいと概要

「豊橋市場まつり」は、豊橋地域地方卸売市場研究協議会（事務局：豊橋市、構成：同市内の青果を中心とした地方卸売市場の卸売会社）の主催で、11月3日（日・祝）に豊橋市下地町の（株）豊橋中央青果市場で開催されました。

この催しは、豊橋市民を始めとした消費者に対して、優れた地元の農産物を、見て、触って食べてもらい、「地元生産者とのふれあい」や「野菜の魅力を伝えること」を通して、地元市場や農産物への理解を深めてもらう目的で行われています。

市場内では、青果物の即売会、農産物詰め放題、模擬セリ体験など様々なイベントが開催されました。

2 会場の様子

即売会では、広い卸売場に即売ブースが設けられ、地元の野菜、果物が所狭しと並んでいました。その中には、本農政課の「いいともあいち運動」ブースのほか、「いいともあいち推進店」も多く出店し、会場を盛り上げました。また、鉢物生産者で即売も行う豊橋市老津町の「菜ッ花園」にも出店していただき、「フラワーウォーク」運動のPRも行いました。「フラワーウォーク」運動では、商品を購入してくれた方に、「あいちの花をアピールする」パンフレットや関連グッズを配布しました。

メイン会場には、玉ねぎ、にんじん、じゃがいもの「農産物詰め放題」のコーナーが設けられました。詰め放題では、溢れるほど詰めても大丈夫という担当者のサービス満点の対応に、お客さんもビックリする量の野菜がビニール袋に入り、皆さんの笑顔が印象的でした。



「菜ッ花園」の店舗

3 青果市場の「セリ」を体験

会場の一画では、来場者のお客さんを対象に、本番さながらの「模擬セリ」が行われました。卸売市場の仕事や仕組みを垣間見ることができたことと同時に、セリ落としたお客さんは、自分の欲しいものをお買い得な値段で手に入れ、皆さん満足そうでした。

この催しは、消費者に対して、本地域の農業、農産物流通の状況をわかりやすくアピールする取組として、効果的だと感じました。



模擬セリの様子

ブロッコリーの有利販売に向けた対策

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

11月12日（火）、銀座東武ホテルにおいて、京浜地区主要卸売各社とJAあいち経済連、京浜地区を主要出荷先とする県内3JAによる「秋冬野菜京浜地区販売会議」が開催されました。今期販売方針の検討のほか、各社個別での情報交換などが行われ、その中でブロッコリーの流通販売についての話がありましたので紹介します。

1 右肩上がりの氷詰め産地

直近10年における東京都中央卸売市場のブロッコリー入荷状況は図1のとおりです。本県や埼玉のような従来産地を、香川や熊本、長崎の新興産地が追い上げ、アメリカを始めとした外国産は減少しています。特にここ数年は国内流通における技術改善(冷蔵)が進み、九州や四国など遠隔地からの入荷が急増しています。

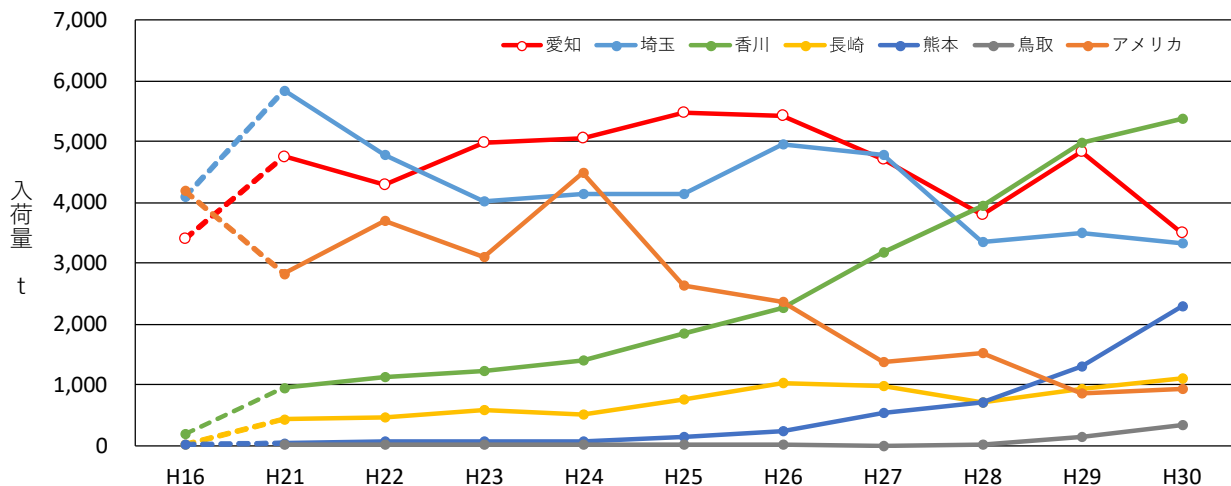


図1 主要県のブロッコリー入荷量の年別推移（数値は東京都中央卸売市場webより）

2 品質とともに安定供給を達成

急速に入荷量を伸ばしている香川などは、産地の形成初期より「氷詰め」や「発泡スチロール出荷箱」による高い品質維持を産地の特色としていますが、同時に産地側での冷蔵庫による出荷調整（ストックコントロール）など安定供給にも力を入れています。冷蔵により輸送や滞留中の歩留まりが向上することに加えて、出荷量を調整することで市場の望む安定した入荷が行えています。

長距離輸送の課題(品質劣化、歩留まり)が解消されたことで、遠方であること自体も産地に不利なことばかりではなくなっています。正確な入荷量は、輸送トラックが産地を出た時点でほぼ確定しますが、遠方産地であれば実際の入荷時間よりかなり早い段階で数量がわかります（図2）。市場側としては早期に入荷量を把握でき、小売との商談や数日先を見通した販売計画を立てる上で、非常に都合の良い商品・産地となります。その時間の余裕は早ければ早いほど良く、たとえ半日、数時間でも早期把握できるメリットは大きいとのことでした。

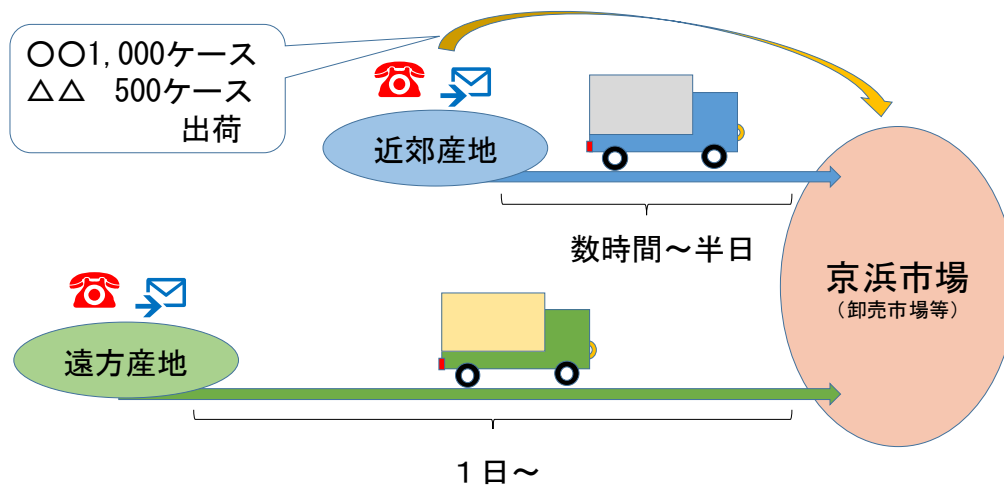


図2 情報伝達と実際の入荷までの期間

3 入荷量が不確定だとストックをせざるをえない

小売は基本的に店舗に青果物の在庫を置きたがらないため、卸売会社は定期的に必要量を卸すことを求められます。産地からの入荷量が不安定であったり、翌日以降の入荷量把握が困難で不確実性が高くなると、市場は翌日の販売分の確保に動きます。

こうした際は、産地側での出荷量調整（ストックコントロール）が有効となりますが、産地と消費地の距離の近さを背景に、収穫から小売までの速さ（冷蔵に頼らない鮮度）を売りにしてきた近郊産地では、安定供給のために1日出荷を遅らせた分、売りである鮮度を落とすことになり難しい選択となります。

4 近郊産地の留意点

従来の段ボール箱での出荷形態は、市場などで長時間、荷が滞留することは想定されておらず、表1のような状況になると品質劣化が起こりやすくなります。こうした状況では「氷詰め」や「発泡スチロール出荷箱」が品質維持に効果を発揮しますが、「氷詰め」などによる鮮度維持は、産地の負担が大きく経費増にも繋がります。

根本的に長期滞留を避けるため、産地側での大型冷蔵庫を利用した計画出荷や、週間予測及び個別出荷予約などによる出荷予定の早期・高精度の伝達など、卸売会社に入荷量を早い段階で把握してもらい、消費地でのストックリスクを軽減して滞留による劣化をなくすことも、近郊産地の流通対策と言えます。

表1 氷詰め、発泡スチロールが効果を発揮する状況

<p>①出荷から販売までが長時間かかるとき（遠方産地からの出荷）</p> <p>②入荷量の不安や早期把握が困難なとき（市場や小売がストック判断するとき）</p> <p>③入荷量の急増や荷動きが停滞したとき</p> <p>④夏の高温期</p> <p>→これらの状況にならないような対策も一つの手段 （「計画出荷」「出荷情報提供」による②、③の回避）</p>

計画出荷や正確な出荷情報は、2つとも古くから言われている対策ですが、「氷詰め」などと併せて、「鮮度維持」「計画出荷」「出荷情報」のどこに重点を置いて改善するか、産地特性や費用対効果を見ながら、比較検討していく必要があると思われます。

あいちの農林水産フェアを開催しました

食育消費流通課

本県の新鮮で、安全・安心な農林水産物や、県産食材を活用した加工食品を県民の方々に広く紹介する「あいちの農林水産フェア」を、11月23日（土・祝）、名古屋市中区金山の金山総合駅イベント広場で開催し、6,240人余に御来場いただきました。

1 県産農林水産物及び加工品の紹介・販売

イベント広場では、名古屋市及びJA、県内の加工事業者を始め、28の企業・団体が出展し、ほうれんそう、みかんなどの旬の農産物を始め、干物、海苔、抹茶など“あいち産”にこだわった県産品を数多く紹介・販売しました。

また、手軽にあいち産の食材を味わえる名古屋コーチン肉まんやライスコロケも販売し、県産食材のおいしさを楽しんでいただくことができました。



名古屋コーチン肉まん

2 楽しく学べる主催者企画

主催者企画としては、4種類のだいこんの食べ比べや『食育の広場』で体験イベントを行いました。

愛知県食育推進ボランティアが行った『食育の広場』では、「豆つかみゲーム」や「食育クイズ」が行われ、箸で豆をつかむのに奮闘する方や、クイズのヒントを聞きながら学ぶ様子も見られ、多くの方に参加いただきました。会場内には笑顔があふれ、どちらの企画も好評でした。



食育の広場（食育クイズ）

イベント広場には、毎年この農林水産フェアを楽しみに来てくださるリピーターの方が多く見受けられました。

当フェアは、生産者と消費者が直に触れあい、より結びつきを強める場であるとともに、本県産の農林水産物の良さを知っていただくための絶好の機会となっており、県民ニーズの高いイベントとして定着しています。



会場の様子

スポーツシーンにおけるあいちの花のPRについて

園芸農産課

1 花いっぱい県民運動について

愛知県は、1962年以降、56年連続して花の産出額が日本一である「花の王国」であり、2013年度に花き関係団体などと「花の王国あいち県民運動実行委員会」を設立し、暮らしの中に花を取り入れていただく「花いっぱい県民運動」を推進しています。

実行委員会では、この取組の一つとして、2014年度から「花の王国あいちパートナーシップ事業」を展開し、花のイベント以外の場面に「あいちの花」を提供し、花きの消費が少ないと言われている若年層を始め幅広い県民の皆様にPRしています。

2 2019年に行った「あいちの花」のPR実施事例

(1) 大相撲名古屋場所優勝力士への花束贈呈

7月21日(日)に愛知県体育館で開催された大相撲名古屋場所千秋楽において、知事から優勝力士に、愛知県知事賞としてあいちの花で制作した大きな花束を贈呈しました。花束は、愛知県で産出額が多いキクやバラなど、約200本を使用して制作しました。



優勝力士に贈呈した大花束

(2) ラグビーワールドカップ2019における装飾展示

ラグビーワールドカップに関連する3回のイベントで、県産のカーネーションで制作した大きなラグビーボールの装飾(高さ約1.5m、幅約1.3m)を展示しました。

スカイホール豊田のファンゾーン会場では、ラグビーボール装飾のほか、大相撲名古屋場所で贈呈した大花束や花の王国あいちのPRパネル等も展示しました。



ファンゾーン会場の展示

ラグビーワールドカップ2019に係るあいちの花の装飾展示場所

- ・期日：2019年6月22日(土)
場所：三井ショッピングパークららぽーと名古屋みなとアクルス(名古屋市港区)
「ラグビーワールドカップ2019大会100日前イベント」会場
- ・期日：2019年9月23日(月・祝)
場所：スカイホール豊田(豊田市)
「ラグビーワールドカップ2019ファンゾーン in 愛知・豊田」会場
- ・期日：2019年10月4日(金)、5日(土)
場所：JR名古屋駅中央コンコース(名古屋市中村区)
「インフォメーション」会場

3 今後の取組について

東京オリンピック・パラリンピックではメダリストらに贈呈する副賞として「ビクトリーブーケ」が使用されることになり、会場装飾にも花が活用されます。生産者や流通・販売の関係団体などは、スポーツシーンにおいて積極的に花きを活用していこうという機運が今まで以上に高まっています。今後も花きのスポーツシーンでの活用を通じて、「あいちの花」の一層の需要拡大を図っていきます。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：れんこん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
30年実績	2,390	1,156 (48%)	437	449 茨城(49%) 熊本(2%)
元年見通し	2,100	—	460	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
茨城、愛知を中心に入荷する。茨城では作付面積が年々増加傾向にあるが、本年作は秋の天候不順のため、茨城と愛知ともに不作となっている。現在の入荷量は平年よりかなり少なく、今後も同じ状況が続くとみられる。量販店中心の販売となるため、入荷が減少すると売り込みも難しくなり、減少分ほどの価格上昇はないか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。		全国の5割程度のシェアを誇る茨城が作付面積を増やす一方で、愛知は高齢化などから作付けが減少傾向にある。中京圏では愛知が依然として主要産地となっているが、今後も交渉力を維持していくために、出荷ロットの維持をお願いしたい。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：サニーレタス）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
30年実績	9,908	403 (4%)	306	459 長野(45%) 茨城(22%) 福岡(11%)
元年見通し	9,500	—	320	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
サニーレタスの総入荷量は年々増加傾向にあり、福岡や兵庫、香川などで作付面積が増加している。今後出荷を予定している作型では、各産地とも台風による根傷みやその後の病害発生がみられるが、出荷への影響は限定的とみられる。ただし小玉傾向であり、今後の気温次第では入荷量が減少する場面もあるか。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。		サニーレタスは業務需要のウェイトが高いことからシーズン契約や週間特注等の取引が年々増加傾向にある。より一層の安定入荷が期待されることから、生産量と高品質の維持をお願いしたい。 一度客を逃すと戻ってくるのに時間がかかるため、「攻めの提案」をしていきたい。		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	26年	33,387	241	230	227	271	北海道 28%
	27年	36,624	218	186	216	243	愛知 22%
	28年	35,204	237	235	238	234	茨城 12%
	29年	35,140	268	247	246	315	長野 4%
	30年	36,855	204	193	195	215	長崎 3%
	5ヵ年平均	35,442	234	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	35,600	212	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、愛知、茨城などが中心となる。北海道の土物は豊作傾向で安値を見込む。他の品目では秋の天候不順の影響を受けたものもあるが、順調な予想の品目が多く、全体的な価格は安値傾向となるか。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
だいこん	26年	2,247	63	57	58	79	千葉 43%
	27年	1,803	60	58	67	64	愛知 28%
	28年	1,720	94	99	98	90	静岡 13%
	29年	1,780	155	134	151	191	鹿児島 5%
	30年	2,130	51	53	48	57	神奈川 5%
	5ヵ年平均	1,936	82	78	82	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,800	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、愛知を中心に入荷する。千葉は台風の影響で、11月入荷は平年より少なく、12月も減少するか。愛知は生産者数が減少傾向にあるが、本年は作柄良好で秋も温暖だったため、潤沢な入荷を見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	26年	2,114	92	92	87	103	愛知 69%
	27年	1,957	105	103	103	112	長崎 9%
	28年	1,929	133	137	145	120	岐阜 8%
	29年	1,997	135	134	118	163	千葉 6%
	30年	1,781	118	122	120	110	北海道 6%
	5ヵ年平均	1,956	116	117	114	122	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,900	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知を中心に入荷する。愛知の前年は台風被害による不作で大きく入荷が減少したが、本年は豊作傾向となっている。一方、長崎や岐阜は小玉がやや多い。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

11月29日現在

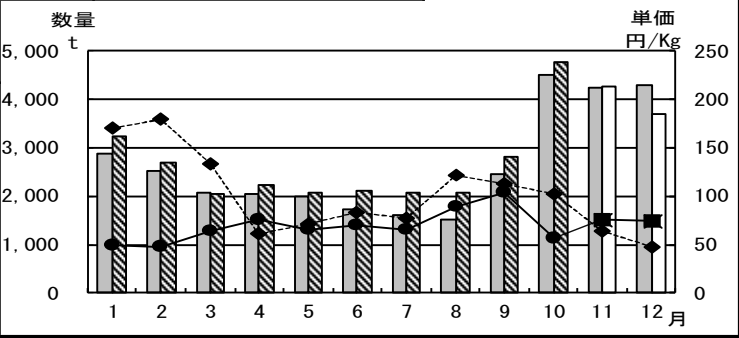
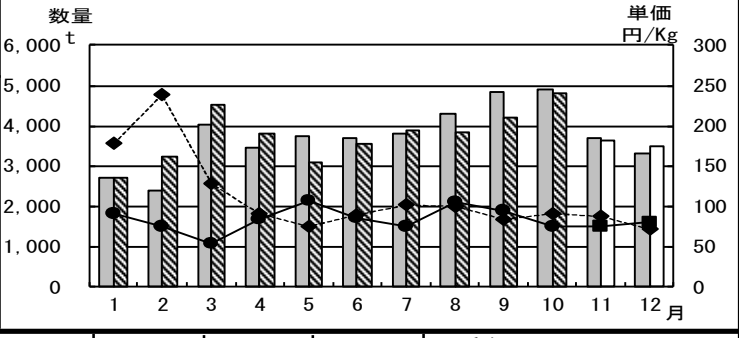
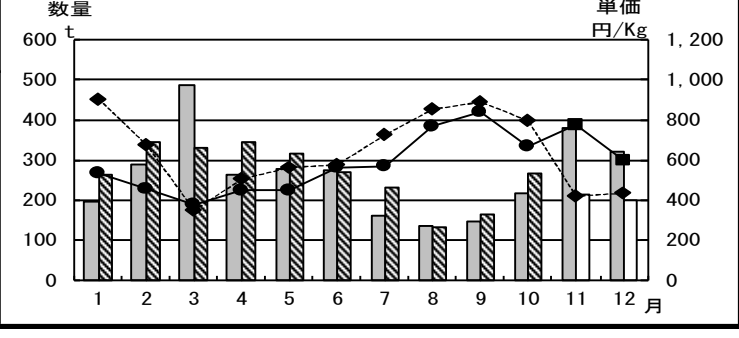
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	26年	137,555	241	195	238	290	千葉 20%
	27年	139,108	223	207	214	246	茨城 19%
	28年	132,314	272	266	265	284	北海道 12%
	29年	124,957	314	280	295	364	愛知 6%
	30年	130,891	230	204	216	267	神奈川 5%
	5ヵ年平均	132,965	255	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	131,000	255	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城などの関東産地からの入荷が中心となる。先月は10月末の大雨で品薄気味となる品目が出るも、入荷量は概ね回復へ向かう。価格は先月に上昇に転じ、このまま年末に向け勢いを付けたいところ。入荷量は前年並となり、価格は低調だった前年をかなり上回る見込み。</p>					
だいこん	26年	14,661	57	46	50	75	千葉 49%
	27年	13,190	53	47	54	56	神奈川 44%
	28年	13,111	90	88	91	92	徳島 3%
	29年	10,880	151	128	139	186	岩手 1%
	30年	11,773	49	43	43	61	茨城 1%
	5ヵ年平均	12,723	78	68	73	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	11,900	90	85	90	95	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、神奈川からの入荷が中心となる。各産地ともに台風の影響は少ないか、まき直し分が順調に生育しており、潤沢な入荷が見込まれる。ただし病害等の発生が見られるため、品質には留意が必要か。入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
にんじん	26年	9,786	94	85	90	107	千葉 85%
	27年	9,960	94	96	90	95	埼玉 6%
	28年	8,470	148	149	140	154	香川 3%
	29年	8,622	133	124	129	145	茨城 3%
	30年	8,780	110	103	105	121	中国 1%
	5ヵ年平均	9,124	114	110	110	123	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	9,000	115	115	115	115	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に埼玉、茨城などからの入荷となる。10月末に大雨被害があった主力の千葉を始め、いくつかの産地で生育遅れが見られるが、入荷への影響は限定的で遅れも徐々に解消すると見込まれる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)					
				上旬	中旬	下旬			
ほうき	26年	3,864	48	44	46	56	茨城	60%	
	27年	3,179	48	42	47	56	愛知	28%	
	28年	3,231	101	98	97	109	兵庫	5%	
	29年	3,725	138	125	132	156	宮崎	3%	
	30年	4,304	48	46	49	51	岐阜	3%	
	5ヵ年平均	3,661	76	70	73	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	元年見通し	3,700	75	75	75				
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、愛知を中心に入荷する。茨城は10月に台風もあったが、順調な入荷が見込まれる。愛知も豊橋で雹害があったものの、12月は豊田からの出荷も多くあるため、全体では順調な入荷となるか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
	<p>茨城、愛知を中心に入荷する。茨城は10月に台風もあったが、順調な入荷が見込まれる。愛知も豊橋で雹害があったものの、12月は豊田からの出荷も多くあるため、全体では順調な入荷となるか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>								
	キヤベツ	26年	3,555	75	59	78	87	愛知	71%
27年		3,488	53	61	54	49	茨城	21%	
28年		3,449	104	105	108	102	富山	2%	
29年		4,035	134	131	144	182	滋賀	2%	
30年		3,323	71	72	64	79	兵庫	2%	
5ヵ年平均		3,570	89	87	91	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
元年見通し		3,500	80	80	80				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は干ばつや集中的な雨があり、小玉傾向や割れ玉も見られたが、豊作基調。茨城も生育順調で、大きな気温低下がなければ順調な入荷を見込む。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>							
<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は干ばつや集中的な雨があり、小玉傾向や割れ玉も見られたが、豊作基調。茨城も生育順調で、大きな気温低下がなければ順調な入荷を見込む。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>									
ほうれんそう		26年	317	525	396	563	702	愛知	60%
	27年	277	478	450	507	522	茨城	17%	
	28年	354	472	484	507	471	群馬	10%	
	29年	181	980	909	959	1,063	徳島	4%	
	30年	320	436	426	409	476	岐阜	3%	
	5ヵ年平均	290	540	499	554	606	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	元年見通し	200	600	600	500	700			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は台風とその後の雨の影響で、露地物を中心に入荷減が予想される。12月前半は少ない入荷となるか。茨城は順調で平年並の入荷を見込む。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
	<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は台風とその後の雨の影響で、露地物を中心に入荷減が予想される。12月前半は少ない入荷となるか。茨城は順調で平年並の入荷を見込む。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>								

東京都中央卸売市場

11月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	26年	14,618	34	32	33	38	茨城 93%
	27年	13,709	33	31	32	35	群馬 4%
	28年	14,745	83	77	79	93	北海道 1%
	29年	16,244	105	95	98	120	兵庫 1%
	30年	15,439	38	36	39	37	
	5ヵ年平均	14,951	60	55	57	66	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	14,500	75	70	75	80	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城を中心とした入荷となる。茨城は秋の台風と大雨により圃場条件が悪く、生育遅れや病害等が発生している。今後も品質が安定しないため、入荷への影響は避けられないと見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
キヤベツ	26年	12,921	77	58	80	94	愛知 39%
	27年	14,171	56	62	56	50	千葉 34%
	28年	14,178	112	109	114	114	神奈川 13%
	29年	13,077	155	128	145	191	茨城 13%
	30年	14,117	72	68	64	84	東京 1%
	5ヵ年平均	13,693	94	85	91	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	13,900	90	85	85	100	
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知と、千葉を中心とした関東産地からの入荷となる。関東各産地は台風や大雨により根張りが弱く小玉傾向となる。愛知は11月に多かった裂球が落ち着き潤沢な入荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
ほうれんそう	26年	1,735	495	366	502	656	群馬 40%
	27年	1,642	445	426	472	440	茨城 21%
	28年	1,703	473	480	482	459	千葉 15%
	29年	991	913	829	859	1,028	埼玉 12%
	30年	1,557	420	368	383	511	栃木 4%
	5ヵ年平均	1,526	518	465	513	584	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,500	650	650	630	670	
そ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>群馬、茨城、千葉など関東近郊産地からの入荷が中心となる。この時期はほぼ関東産となるため、今年の台風と大雨の影響を強く受けている。回復傾向も急激な入荷増は見込めず、前年を下回る見通し。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
ねぎ	26年	1,231	380	321	372	445	長野 20%
	27年	1,259	370	370	354	395	静岡 14%
	28年	1,196	408	398	395	433	大分 13%
	29年	1,182	448	443	426	481	群馬 8%
	30年	1,181	376	361	362	406	秋田 8%
	5ヵ年平均	1,210	396	378	381	432	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,200	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、静岡などの各産地から入荷する。長野は中旬に終了する予定で平年並の数量を見込む。大分、静岡、鳥取の秋冬ねぎは順調な入荷見込み。関東産地は台風と長雨の影響で平年より少なくなるか。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
しそ	26年	1,749	285	170	298	397	兵庫 40%
	27年	1,871	205	182	212	228	愛知 16%
	28年	1,802	235	272	230	215	静岡 14%
	29年	1,288	554	462	486	678	熊本 10%
	30年	1,845	170	148	141	218	長崎 8%
	5ヵ年平均	1,711	273	233	259	325	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,750	250	220	250	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫を中心に静岡、愛知などから入荷する。兵庫は11月から引き続き順調な入荷となり、静岡も台風の大きな影響はなく順調な入荷見込み。11月の主産地の茨城は台風もあり、12月上旬には荷がなくなるか。入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	26年	1,026	475	346	504	613	愛知 59%
	27年	994	490	534	419	530	高知 14%
	28年	1,031	446	327	356	347	宮崎 14%
	29年	1,029	492	475	492	507	鹿児島 12%
	30年	1,027	492	342	514	637	
	5ヵ年平均	1,022	479	404	457	527	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,040	430	420	430	440	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に、宮崎などの西南暖地から入荷する。愛知は秋の天候不順で根張りが悪く、12月上旬の入荷は少ない見込みで、中旬以降は順調となるか。西南暖地は概ね前年並の入荷を見込む。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

11月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	26年	6,982	292	256	290	325	千葉 25%
	27年	6,519	316	315	300	327	茨城 17%
	28年	6,159	363	364	347	377	埼玉 14%
	29年	6,041	391	414	359	403	群馬 11%
	30年	6,484	324	313	310	343	栃木 9%
	5ヵ年平均	6,437	335	330	320	354	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	6,200	310	300	310	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉県を始めとした関東近郊産地が中心となる。台風、大雨の影響を受けるも回復に向かっている。各産地からの入荷は順調に増量し、不足感なく年末の需要期に入ると見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格も前年をやや下回る見込み。</p>					
し	26年	7,282	280	157	298	389	静岡 34%
	27年	8,135	201	186	207	208	茨城 14%
	28年	8,575	233	266	224	212	香川 13%
	29年	5,186	547	469	482	667	兵庫 12%
	30年	8,449	156	138	121	210	長崎 8%
	5ヵ年平均	7,525	261	227	247	308	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	7,400	200	200	210	190	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、茨城、長崎などから入荷する。一部産地で台風、大雨の影響が見られるも、主力の静岡は順調に入荷量を増やし、西日本産地も順調な生育で平年並の入荷が見込まれる。 入荷量は潤沢だった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	26年	4,249	498	371	528	601	宮崎 33%
	27年	4,260	522	556	447	561	千葉 20%
	28年	4,490	464	461	449	483	高知 15%
	29年	4,228	523	497	529	541	埼玉 14%
	30年	3,752	556	344	604	788	群馬 9%
	5ヵ年平均	4,196	511	448	508	589	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	3,900	480	400	440	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、高知、千葉、埼玉など、西南暖地と関東近郊の冬産地からの入荷が変わる。宮崎の成り疲れ、関東の生育不良、高知の生育遅れと各産地とも振るわず、当初の予想を下回る入荷となる見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	26年	312	444	427	441	486	熊本 51%
	27年	367	417	398	423	430	愛知 43%
	28年	342	442	441	447	439	高知 6%
	29年	257	564	542	591	561	
	30年	398	402	398	408	407	
	5ヵ年平均	335	446	434	453	457	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	350	400	360	400	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に入荷する。熊本は天候にも恵まれ生育良好で、順調な入荷を見込む。愛知は産地の一部で定植時期が遅れたところもあるが生育順調で、概ね平年並の入荷となるか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
ト マ ト	26年	962	360	345	348	389	熊本 45%
	27年	1,044	285	236	280	360	愛知 28%
	28年	815	541	681	483	460	三重 16%
	29年	868	487	461	465	532	岐阜 11%
	30年	1,034	328	335	330	323	
	5ヵ年平均	945	391	398	374	407	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,000	360	360	360	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、三重、岐阜が中心となる。猛暑や秋の天候不順で、1～3段目が着果不良となった産地もあるが、12月は順調な入荷を見込む。サイズはL玉中心で、箱数も出てくる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	26年	363	620	594	614	665	熊本 48%
	27年	422	603	423	574	831	愛知 41%
	28年	333	917	1,021	850	900	宮崎 7%
	29年	360	907	864	932	921	和歌山 3%
	30年	490	585	549	572	638	長野 1%
	5ヵ年平均	394	710	668	693	781	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	440	630	630	630	630	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に入荷する。前年は大幅な入荷増の安値推移となった。前年ほどではないものの、本年も平年を上回る順調な入荷見込みで、価格は安値となるか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

11月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	26年	1,625	535	485	518	580	高知 64%
	27年	1,796	492	483	506	488	福岡 17%
	28年	1,827	500	484	535	509	熊本 9%
	29年	1,496	656	703	756	559	佐賀 3%
	30年	1,817	449	444	467	439	岡山 2%
	5ヵ年平均	1,712	521	514	550	512	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,800	530	530	530		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
高知を中心に福岡、熊本から入荷する。先月より入荷は少なめで推移する見通し。今月での大きな増量はないとの予想だが、前年並の入荷が見込まれる。入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
ト マ ト	26年	5,204	398	375	401	421	熊本 51%
	27年	5,533	332	287	332	385	愛知 14%
	28年	4,423	577	715	532	500	栃木 13%
	29年	4,446	541	513	519	588	千葉 7%
	30年	5,254	377	373	381	377	静岡 5%
	5ヵ年平均	4,972	436	440	426	448	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	5,100	430	480	430	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本を中心に愛知、栃木から入荷する。関東産地は台風の影響でやや入荷が減り、熊本が増量するも大きな山にならない。愛知は小玉傾向が改善し平年並を見込むが、年明けは着花に不安を伴う段に入り数量を減らすか。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
ミ ニ ト マ ト	26年	1,598	609	573	607	649	熊本 37%
	27年	1,763	573	435	557	769	愛知 22%
	28年	1,506	886	1,013	796	843	千葉 13%
	29年	1,573	899	840	901	942	宮崎 11%
	30年	1,850	594	549	598	635	静岡 7%
	5ヵ年平均	1,658	703	669	684	762	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,700	690	670	690	710	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知、千葉、宮崎からの入荷が中心となる。主力産地は好天に恵まれ着果に不安はない。各産地とも概ね作柄良好で、平年作が見込まれる。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	428	461	377	476	630	鹿児島 47%
	27年	384	505	393	542	593	宮崎 37%
	28年	428	479	469	520	490	高知 15%
	29年	369	611	525	642	619	茨城 2%
	30年	424	359	298	369	476	
	5カ年平均	407	479	410	506	559	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	400	430	430	430	430	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
鹿児島、宮崎、高知を中心に入荷する。鹿児島を始めとした西南暖地は天候も良く生育良好で、安定した入荷を見込む。11月は数量増の安値となっており、12月も安値傾向は続くか。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。							
白菜	26年	3,043	92	93	93	90	北海道 69%
	27年	3,267	97	97	100	98	長崎 31%
	28年	2,572	188	190	191	174	
	29年	2,633	114	114	113	115	
	30年	2,773	116	122	112	113	
	5カ年平均	2,858	119	121	120	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,800	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道、長崎からの入荷となる。北海道は豊作傾向で、前月から引き続き潤沢な入荷を見込む。長崎産は全体的に小玉傾向。北海道産が潤沢に入荷されるため、価格は安値推移となる見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。							
たまねぎ	26年	6,611	79	83	84	81	北海道 98%
	27年	7,105	66	67	68	68	アメリカ 1%
	28年	8,414	67	66	70	68	中国 1%
	29年	7,658	82	84	82	80	
	30年	8,010	98	102	109	89	
	5カ年平均	7,559	79	80	83	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	8,000	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
ほぼ全量を北海道から入荷する。北海道の12月入荷分は全て貯蔵物となるが、各産地ともに豊作だったため、計画通りの入荷を見込む。豊作の影響から価格は安値安定で推移する見通し。 入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

11月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	1,530	459	346	442	624	宮崎 37%
	27年	1,371	508	387	553	896	茨城 33%
	28年	1,662	479	442	494	510	高知 19%
	29年	1,471	625	543	662	679	鹿児島 11%
	30年	1,579	394	317	382	519	
	5ヵ年平均	1,523	491	406	503	637	
	元年見通し	1,500	450	450	450	450	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、茨城、高知、鹿児島からの入荷が中心となる。一部で成り疲れからの谷間となる産地があるも、多くの産地は生育順調で安定した入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
白菜	26年	8,861	95	94	93	97	北海道 76%
	27年	8,699	100	98	100	107	長崎 23%
	28年	7,451	189	186	190	191	群馬 1%
	29年	8,146	112	112	111	113	
	30年	7,310	118	120	117	118	
	5ヵ年平均	8,093	121	120	120	123	
	元年見通し	8,500	95	90	90	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、長崎からの入荷がほとんどを占める。主力となる北海道は豊作基調で潤沢な入荷を見込む。長崎も干ばつによる遅れから回復し増量する。年末年始に不規則となるコンテナ輸送に留意が必要。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	26年	11,033	86	85	87	89	北海道 93%
	27年	11,460	68	71	66	69	中国 5%
	28年	11,441	75	74	74	76	佐賀 1%
	29年	10,884	93	90	94	96	兵庫 1%
	30年	9,793	121	120	120	126	
	5ヵ年平均	10,922	88	87	87	90	
	元年見通し	11,400	75	75	75	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。前年不作となった主力の北海道は豊作基調で、平年並の入荷が見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月18日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	11,654	337	290	362	381	静岡 21%
	27年	9,997	381	334	399	414	愛知 19%
	28年	10,907	370	317	395	415	和歌山 10%
	29年	9,718	429	363	442	475	フィリピン 10%
	30年	9,826	392	342	396	415	青森 7%
	5ヵ年平均	10,420	380	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	9,500	410	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、いちご、りんごなどが主な品目となる。愛知の東三河では、雹害で終盤の次郎柿などが大きく被害を受けた。10月の台風の影響は少なく、前年並の品目も多いが、みかんは裏年等で入荷減を見込む。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						
み	26年	5,804	205	181	204	234	静岡 41%
	27年	4,359	274	229	280	311	愛知 30%
	28年	5,128	251	235	254	273	和歌山 19%
	29年	4,332	354	326	354	393	熊本 3%
	30年	5,048	257	236	267	275	愛媛 3%
	5ヵ年平均	4,934	264	237	267	292	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	4,500	300	250	300	350	
み	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	静岡、愛知を中心に入荷する。11月前半は中小玉が目立つ状況となっている。裏年で元々少ない予想に加えて、静岡では降雪による被害が発生した。傷果からの腐敗の発生等による入荷減が懸念される。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
い	26年	539	1,928	1,309	2,115	2,225	愛知 57%
	27年	603	1,548	1,314	1,511	1,776	熊本 27%
	28年	473	1,985	1,527	2,078	2,257	鹿児島 5%
	29年	419	2,285	1,667	2,370	2,637	佐賀 3%
	30年	505	2,054	1,609	2,280	2,356	岐阜 3%
	5ヵ年平均	508	1,932	1,470	2,040	2,218	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	500	2,000	1,600	2,200	2,200	
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に、熊本などから入荷する。小玉傾向だが、12月前半は九州から数量が出てくる見込みで、概ね平年並の入荷量が予想される。愛知は上旬に最初の入荷ピークを迎える見通し。入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	54,751	368	316	381	397	愛媛 27%
	27年	52,311	402	357	412	430	和歌山 12%
	28年	53,971	417	370	434	447	長崎 11%
	29年	51,507	457	395	471	494	静岡 8%
	30年	51,593	446	404	457	472	青森 8%
	5ヵ年平均 元年見通し	52,827 50,500	417 440	— —	— —	— —	— —
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。りんごは全体的に入荷減で、長野や山形が台風被害で減少する。その他、生育期間中の高温干ばつにより着色遅延や小玉傾向の産地もみられる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。						
みか	26年	33,133	234	211	394	251	愛媛 39%
	27年	30,980	277	258	276	290	和歌山 18%
	28年	33,332	290	288	294	288	長崎 17%
	29年	30,959	342	312	343	361	静岡 12%
	30年	32,507	304	293	310	307	熊本 8%
	5ヵ年平均 元年見通し	32,182 33,000	289 290	272 280	324 300	299 290	— —
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛媛、長崎、和歌山などから入荷する。全体的に高温による着色遅れで11月の入荷が減ったものの、その分が12月上旬にずれ込む見通し。また愛媛の着果量は前年よりやや少ない。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。						
いちご	26年	2,667	1,946	1,451	1,970	2,287	栃木 47%
	27年	2,936	1,695	1,460	1,606	1,940	福岡 18%
	28年	2,445	2,092	1,704	2,025	2,359	茨城 9%
	29年	2,330	2,215	1,743	2,173	2,593	静岡 8%
	30年	2,873	2,106	1,639	2,143	2,408	佐賀 6%
	5ヵ年平均 元年見通し	2,650 2,800	1,999 2,100	1,592 1,800	1,973 2,100	2,303 2,400	— —
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木、福岡、茨城などから入荷する。台風による定植・生育遅れがあるものの回復基調。ただ、栃木は中旬以降に出荷の波の影響で減少する可能性がある。九州産地は前年並か。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。						

切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月29日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	26年	2,818	61	
		27年	2,859	58	
		28年	2,872	59	
		29年	2,897	58	
		30年	2,400	60	
	5ヶ年平均	2,769	59		
元年見通し	2,500	60			
概要	愛知、三重、沖縄から入荷する。生育遅れもあり、前半の入荷量は少なめで推移する見通し。中旬以降は増加するが、年末需要もあるため、堅調な動きが見込まれる。				
小 ぎ	実績	26年	1,989	35	
		27年	2,427	32	
		28年	2,381	30	
		29年	3,015	30	
		30年	1,974	35	
	5ヶ年平均	2,357	32		
元年見通し	2,200	33			
概要	沖縄中心の入荷となる。台風被害はないが、生育は遅れ気味。年末需要期には増加してくるが、25、27日の販売は大幅に減少する見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	26年	1,280	48	
		27年	1,227	44	
		28年	1,258	42	
		29年	1,372	47	
		30年	1,469	39	
	5ヶ年平均	1,321	44		
元年見通し	1,400	40			
概要	長野も終盤に近づき、愛知中心の入荷となる。秋の気温が比較的高く、ここに来て10月の日照量が少なく抑制が掛かったものの、生育は概ね順調。愛知県産の60cmクラスの出荷がようやく始まってくる。				
か す み	実績	26年	180	106	
		27年	249	68	
		28年	182	91	
		29年	169	112	
		30年	206	66	
	5ヶ年平均	197	87		
元年見通し	200	80			
概要	高知、和歌山、熊本の各産地ともに前進しており、熊本と高知の年末の出荷量は少ない見通し。和歌山の出荷に期待される。年末需要で引き合いは強くなり、堅調な動きとなる見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	26年	431	185	
		27年	418	185	
		28年	359	199	
		29年	385	198	
		30年	353	213	
	5ヶ年平均	389	195		
元年見通し	360	200			
概要	高知、宮崎、埼玉、新潟、鹿児島から入荷する。オリエンタル、鉄砲ともに前進傾向。オリエンタルは、白については平年並の入荷が見込めるが、ピンク系については少ない。鉄砲は、主力の高知産の年末向けが中旬の出荷となる見込み。				
洋らん	実績	26年	693	100	
		27年	661	83	
		28年	643	94	
		29年	624	104	
		30年	568	92	
	5ヶ年平均	638	95		
元年見通し	600	95			
概要	高知、徳島、鹿児島、静岡、愛知の国内産や海外の輸入品が入荷する。最近の洋らん類は高値の状態が続いており、年末需要で活発な取引が期待される。				
赤ばら	実績	26年	707	100	
		27年	683	87	
		28年	794	74	
		29年	793	78	
		30年	680	76	
	5ヶ年平均	731	83		
元年見通し	700	75			
概要	愛知、岐阜、三重を中心に入荷する。前半は赤ばらが苦戦しそうだが、大市が済むと次第にクリスマスに向けて引き合いが始まる。前進気味の入荷で推移し、後半の入荷は落ち着く見込み。				
枝も の	実績	26年	5,099	57	
		27年	4,423	55	
		28年	4,659	52	
		29年	4,454	56	
		30年	4,492	60	
	5ヶ年平均	4,625	56		
元年見通し	4,500	60			
概要	茨城、兵庫、愛媛、和歌山、静岡及び長野から年末商材が入荷する。実南天は平年並だが、姫南天は少なめとなる。千両松も天候不順の影響であまり多くなく、価格は高め推移すると思われる。ボケ、加工品などは動きが鈍いか。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	26年	8,522	936	
		27年	7,249	1,072	
		28年	8,729	953	
		29年	8,469	978	
		30年	9,637	1,079	
	5ヶ年平均		8,521	1,003	
	元年見通し		9,500	1,053	
概要	<p>入荷量は前年並か。輸入原木の価格高騰もあり、作付けは減少傾向となっている。今後中鉢・大鉢中心に作付けが減少する予想。ドラセナ類を中心に品薄になる見込み。前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(69.2%)、2位鹿児島(9.5%)、3位宮城(6.4%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	26年	13,693	350	
		27年	7,750	369	
		28年	14,034	437	
		29年	11,926	397	
		30年	9,200	511	
	5ヶ年平均		11,321	410	
	元年見通し		9,000	500	
概要	<p>入荷量はわずかに減少するか。3.5号、4号以下が中心になり、5号以上が少ない見込み。作付け減少と7月の天候が影響している。6号は相対率が上がるため、6号以下のサイズが品薄になる見込み。7号以上は前年並の価格と厳しい予想。前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(82.6%)、2位埼玉(10.7%)、3位茨城(5.3%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	26年	622,950	402	
		27年	574,269	412	
		28年	606,925	411	
		29年	581,607	383	
		30年	537,326	402	
	5ヶ年平均		584,615	402	
	元年見通し		520,000	412	
概要	<p>入荷量は全国的に2週間近く遅れている傾向にあるため、パステル系の5号・6号ともに12月初旬に集中する見込み。前年11月に出ていた商品が今年はまだ出てない。6号の高価格帯は苦戦するか。5号サイズの3個入(1,300~1,000円/鉢)、4個入(1,000~800円/鉢)、5個入(600~500円/鉢)の引き合いが強くなる見込み。前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(28.4%)、2位群馬(15.2%)、3位長野(9.7%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	26年	125,977	2,319	
		27年	113,376	2,397	
		28年	106,582	2,427	
		29年	105,449	2,289	
		30年	91,778	2,206	
	5ヶ年平均		108,632	2,331	
	元年見通し		91,000	2,198	
概要	<p>入荷量は前年並か。生産量の減少が要因。11月の気温が高く、開花が進み出荷が前倒しされている。そのため、12月上旬～中旬に出荷が重なる見込み。アーチ、スタンダードの大きめの商品は上旬、スタンダードの商品は下旬まで出荷をお願いしたい。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(51.0%)、2位高知(10.2%)、3位長野(8.8%)となっている。</p>				
カラッコエ	実績	26年	34,266	207	
		27年	25,394	197	
		28年	29,871	207	
		29年	23,047	194	
		30年	25,819	189	
	5ヶ年平均		27,679	200	
	元年見通し		25,000	188	
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少するか。7月の日照不足・9月の高温など今期も天候不順のダメージがあるが、生産状況は回復してきている。中旬以降に年末需要があるので、出荷調整をお願いしたい。年末年始の出荷は咲いた状態での出荷をお願いしたい。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(54.8%)、2位埼玉(41.7%)、3位茨城(1.9%)となっている。</p>				
パンジー	実績	26年	473,076	28	
		27年	403,892	42	
		28年	489,381	50	
		29年	552,273	38	
		30年	419,772	39	
	5ヶ年平均		467,679	39	
	元年見通し		410,000	39	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少するか。気候の問題から初期生育に影響が出たことや、11月中の出荷に作付けのウェイトを合わせていることが要因と思われる。価格面は平年並の見込み。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(34.6%)、2位奈良(24.3%)、3位三重(10.3%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.558
令和元年12月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434